

(仮称)小杉駅周辺地区新設小学校 説明会

日時:平成29年3月4日(土)

①13時30分から14時30分 ②15時30分から16時30分

場所:中原区役所

次第

- 1 あいさつ
- 2 新設小学校概要説明
- 3 新設小学校に関する検討状況について
- 4 質疑応答

1 あいさつ

川崎市教育委員会教育環境整備推進室

担当課長 渡辺 雅彦

2 新設小学校概要説明

新設小学校の目的

■小杉駅周辺地域の児童増加対策の一環として、良好な教育環境を確保するため、新設小学校を設置。

■平成31年度開校(予定)

小杉駅周辺地区新設小学校予定地について

開校(予定):平成31年4月

場所:川崎市中原区小杉町二丁目295番地1



平成 25 年度「小杉駅周辺地区小学校新設基本計画」策定（抜粋）

平成 25 年度に地域の代表の方々や学校関係者にご参加いただき
基本計画検討委員会を開催し、新設小学校の検討をかさねてきました。

学校づくりの基本理念

「地域とのつながりの中で、将来の川崎の担い手を育む温かな学校」

グローバル化の進展で世界全体が急速に変化している今、思考・判断しながら様々な困難な場面を乗り越える生きる力が求められる。一方、少子高齢化の急速な進展でローカルな視点での温かな町をどのように創るかを考える人材育成も急務である。温もりのある空間や人材のもとで健やかに育ち、将来の川崎を担う子どもたちの育成をめざす。

子どもを取り巻く地域環境 <強みを生かす>

- ・ 地域のつながりが強く、町みんなが支え合って生きていく雰囲気がある。
- ・ 等々力緑地、多摩川、中原街道などの地域環境を生かして体験活動を行うことができる。



<学校で育てていきたい資質・能力>

- ア 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感し、主体的に学ぶ意欲
- イ 自己の役割を果たしつつ、他者と協力・協働して積極的に社会を形成する態度
- ウ 自らの夢や志をもち、地域を愛し、社会に貢献していこうとする心情

基本コンセプト

1 子どもたちが豊かに学び表現できる学校

～多様な学習活動や体験活動を生み出し、支える空間づくり～

- (1) 子どもたちが自分の思いを自由に発信できる学校
- (2) 子どもたちが身体全体を使って主体的に活動できる学校
- (3) 子どもたちの歌声や演奏が響く明るい学校

2 地域コミュニティの拠点となる学校

～地域に開かれ、地域との連携や交流を生む学校～

- (1) 地域、保護者、学校が連携した、地域に開かれた学校
- (2) 地域に加わる新しい世帯と、地域に育った世帯との交流の場となる学校
- (3) 近隣施設との連携や異校種間連携による交流を行う学校

3 安心で安全な学校

～日常の利用と共に、災害時の利用にも配慮した施設づくり～

- (1) 避難所としての防災機能を備えた学校
- (2) 子どもたちが安心して快適に過ごせる学校
- (3) 誰もが使いやすい学校

4 環境を考え、環境を学ぶ学校

～自然エネルギーを活用し、環境教育の場となる施設づくり～

- (1) 緑豊かな潤いあふれる学校
- (2) 自然エネルギーを活用した環境にやさしい学校
- (3) まちとの調和や地域資源を生かした環境学習に取り組む学校



(イメージ)

※基本計画検討委員会や基本計画の内容

川崎市のHPで公開しておりますので、御覧ください。

「小杉駅周辺地区における小学校の新設について」

計画概要

■全体スケジュール

平成25年度	基本計画
平成26年度	基本設計
平成27・28年度	実施設計
平成29年度	建設工事着手、通学区域等の決定
平成30年度	建設工事完成、開校準備
平成31年度	開校

■建物概要

普通教室	18学級(最大30学級)、特別支援教室
特別教室	図書室、パソコン室、家庭科室、生活科室、理科室、 図工室、音楽室、特別活動室、多目的ホール等
管理諸室	職員室、校長室、事務センター、用務員室、保健室等
その他	体育館、プール、給食室等

■設計のコンセプト

①多様な学習活動や体験活動を生み出し、支える空間づくり

・たくさんの「表現の場」をつくる

掲示スペース等、発表や表現の場の充実を図る。

普通教室、特別教室には学習内容に応じたICT環境を整備。

・広々とした「活動の場」をつくる

屋上利用等敷地の有効活用を図り、充実した活動スペースの確保等

・開かれた「芸術の場」をつくる

多目的ホール等子どもたちの発表の舞台として活用できる空間等

■設計のコンセプト

②地域に開かれ、地域との連携や交流を生む空間づくり

・地域と「繋がる場」をつくる

地域住民と子どもたちの触れ合いを生む開放的な地域連携エリアの整備等。

・地域の「交流の場」をつくる

体育館や特別教室等の充実した地域開放スペースの整備。

・地域の「連携の場」をつくる

近隣小学校、近隣施設との連携に配慮したスペース、コーナーの充実を図る。

■設計のコンセプト

③日常の利用と共に、災害時の利用にも配慮した施設づくり

・地域の「防災の場」をつくる

十分な耐震安全性を確保し、災害時に地域の避難所として機能する計画。

・子どもたちの「安心の場」をつくる

デンや相談室、明るく心地よいトイレなど、子どもたちが安心して過ごせる場を整備。

・みんなの「安全の場」をつくる

ユニバーサルデザインにより、誰もが利用しやすい施設計画とする。

■設計のコンセプト

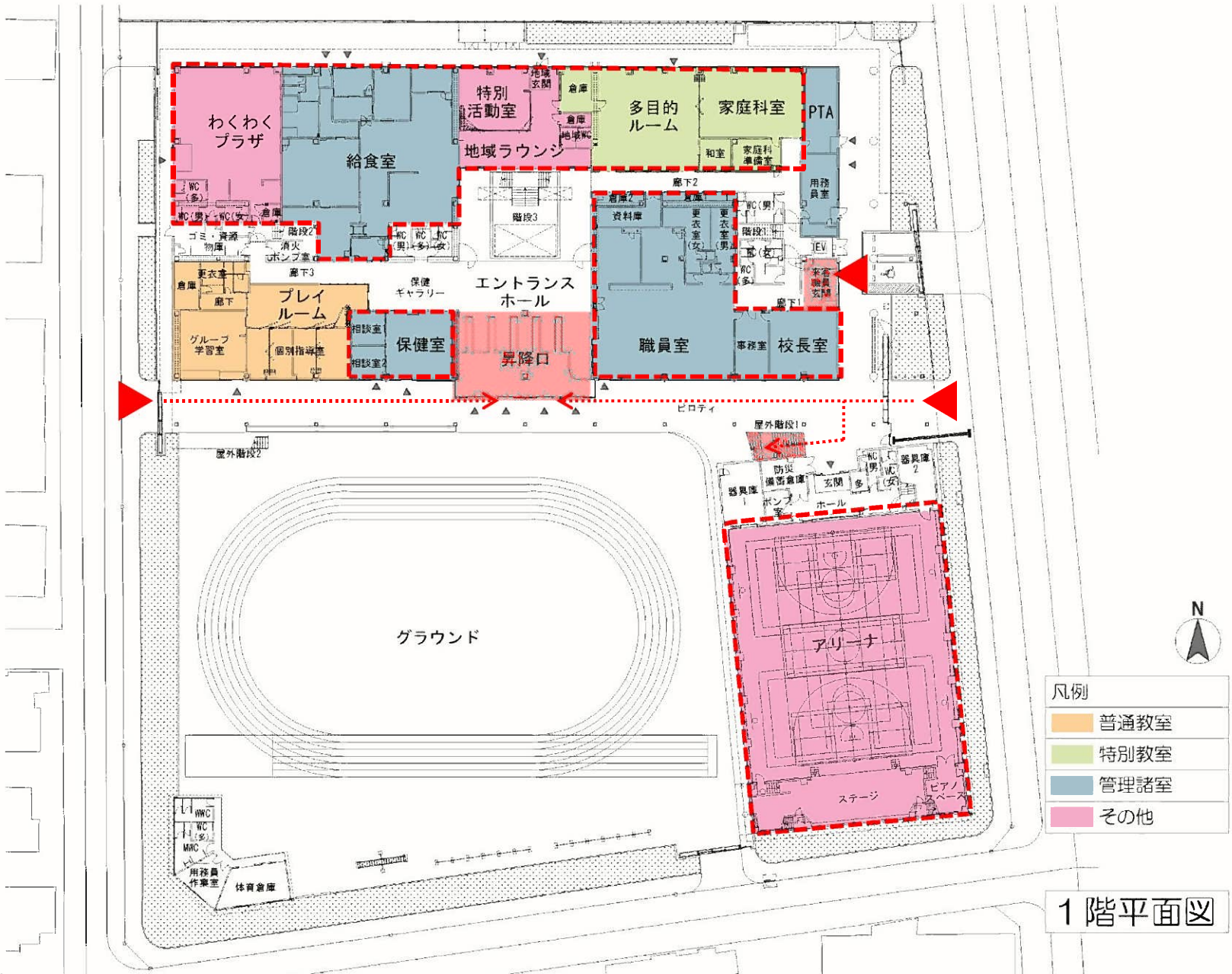
④自然エネルギーを活用し、環境教育の場となる施設づくり

・自然と「共生する場」をつくる

自然採光や自然換気による快適な室内環境の確保、太陽光発電による自然エネルギーを活用した設備を整備。

・環境を「学ぶ場」をつくる

環境学習室の他、観察テラス、太陽光発電パネルなどの環境教育の場を充実させる。



凡例

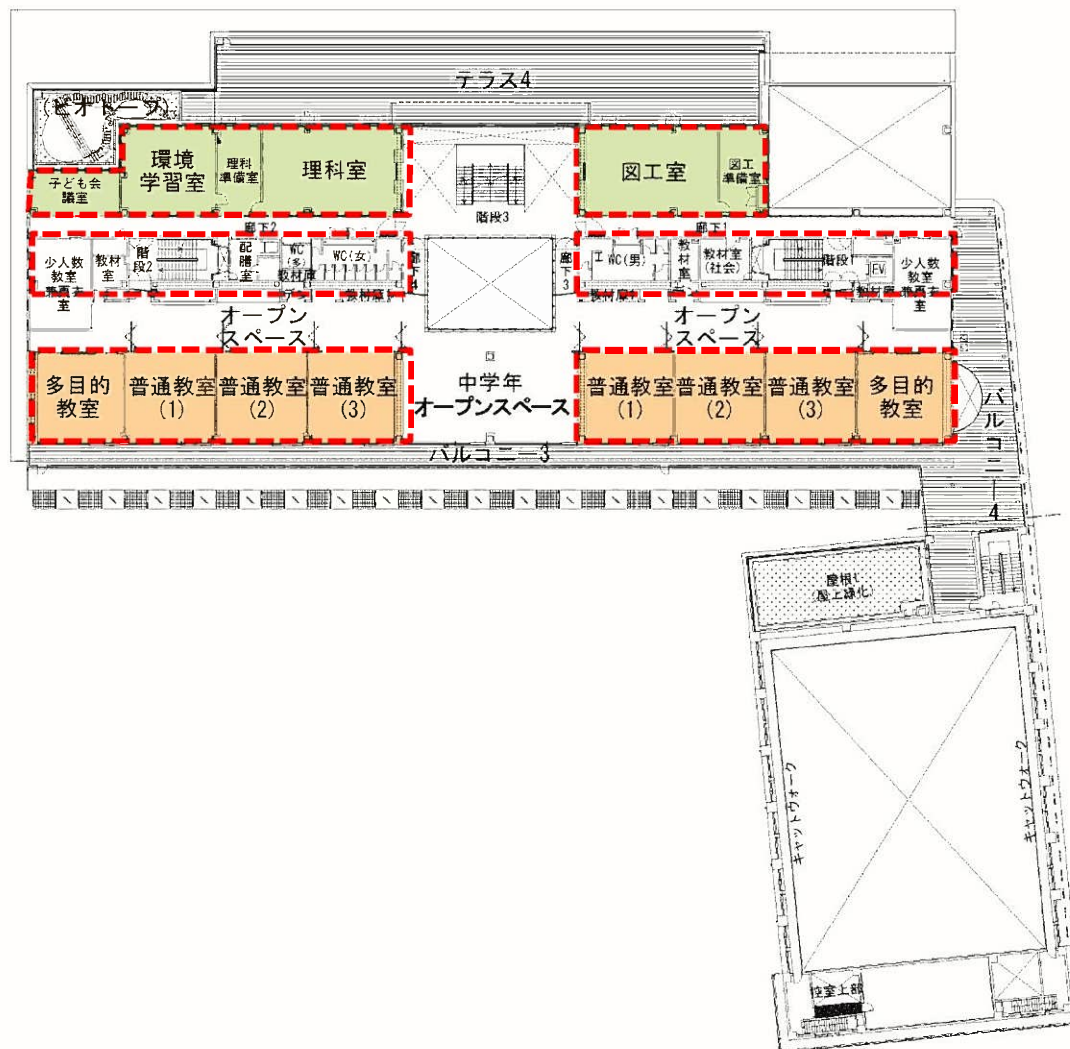
	普通教室
	特別教室
	管理諸室
	その他

1階平面図



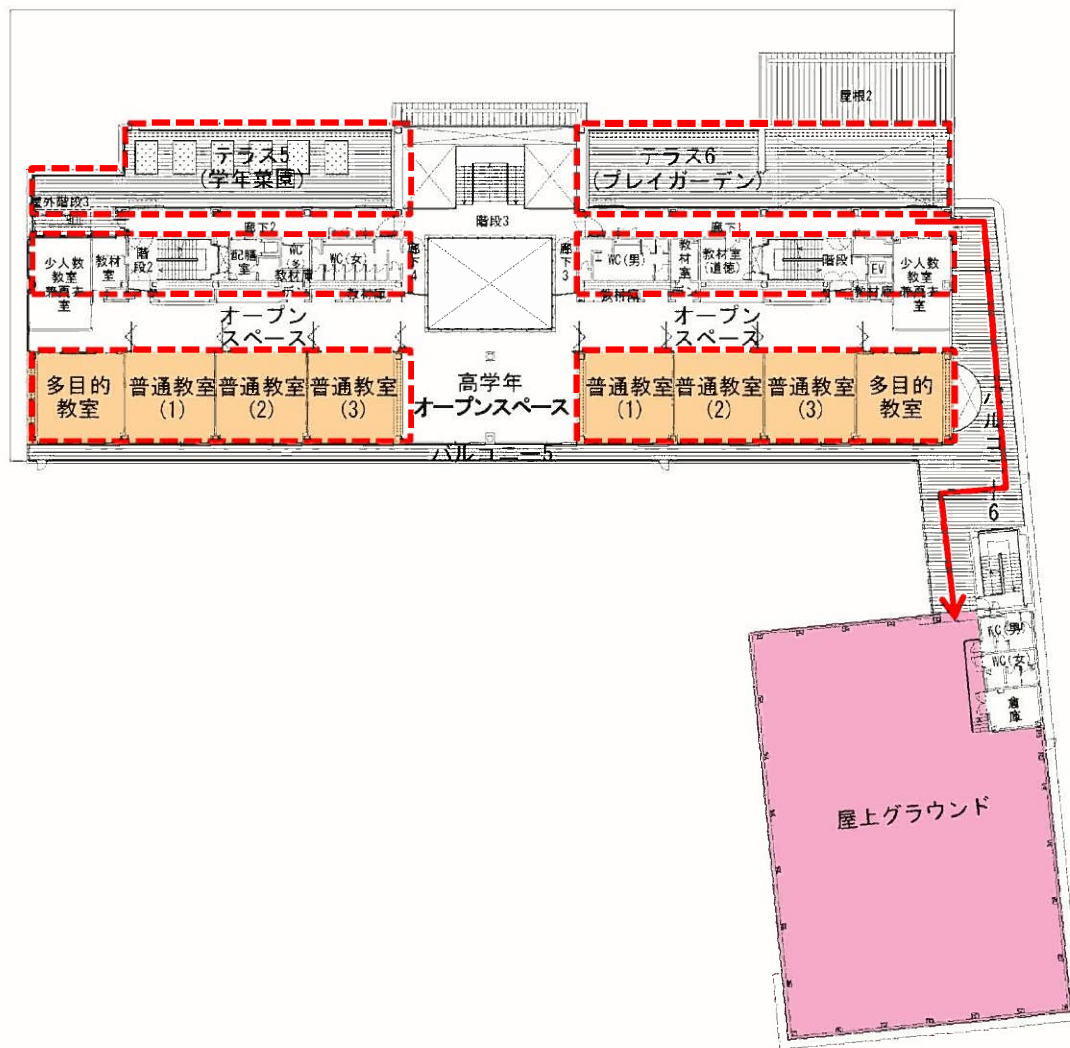
凡例	
	普通教室
	特別教室
	管理諸室
	その他

2階平面図



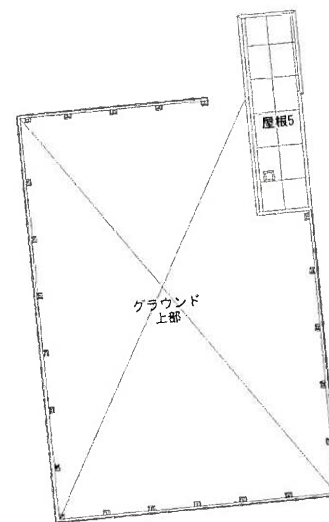
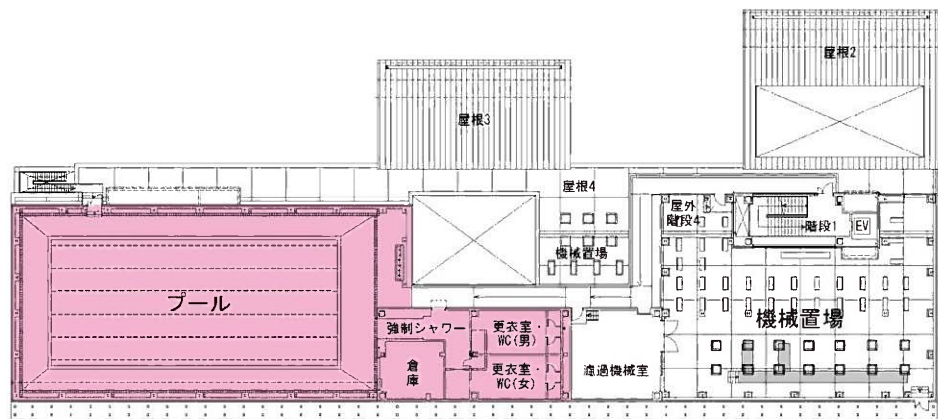
凡例	
	普通教室
	特別教室
	管理諸室
	その他

3階平面図



凡例	
	普通教室
	特別教室
	管理諸室
	その他

4階平面図



凡例	
	普通教室
	特別教室
	管理諸室
	その他

5階平面図